

日本創成会議 第2回提言「グローバル都市創成」 ～ I L C（国際リニアコライダー）を契機とする地域開国～

日本の立て直しには、地方都市の立て直しが必須。「内なるグローバル化」を進め、世界の成長を取り込み、空洞化・過疎化から脱却する。

提言1

地方都市をグローバル都市に変革し、東京以外にも世界から人材・資本を集められる都市をつくり、地域主導で成長する国づくりを目指すべきである。

- ①日本を国際機関や国際的な研究所、大学、企業が集積する「**知の拠点**」にする。
- ②都市全体の**景観のハーモナイゼーション**を高める。中心に**共有空間を創出**することにより住民コミュニケーションを活性化し、コミュニティの機能を向上する。
- ③国によってライフ・スタイルが異なることを念頭にレジャーのメニューを多様化し、余暇活動の質を高める。
- ④外国人が家族で安心して暮らせるよう欧米では一般的な**家庭医制度を導入**し、地域医療の再生を行う。
- ⑤日本の教育の優れた点や独自性は活かしながら外国人子女の転入出に配慮し、**外国とのシームレスな教育環境**を整備する。
- ⑥**外国との交通アクセス網**を整備する。



© Shigeto MAEDA

提言2

国際プロジェクト I L C（国際リニアコライダー）の国際機関としての誘致実現を通し、グローバル都市創成のモデルを構築すべきである。

- ①内閣府にプロジェクトを設置し関係省庁の連携をはかる。国内候補地、大学・研究機関、産業界とともに**オール・ジャパンによる推進体制**をつくる。
- ②各国がコミットする**国際機関として I L C を実現**する。「国際機関 I L C 準備委員会（仮称）」設置を提唱し、これを主導する。
- ③「**アジア候補地**」として各国の参加も視野に国内候補地決定のプロセスを決める。
- ④ I L C 建設（約10年間）と平行し、医療、教育など生活環境の整備を行う。
- ⑤ I L C キャンパス内を特区とし、外国の医師免許等の所持者の就労を可能にし、研究者の配偶者の職をつくる。
- ⑥安全に関する情報公開のしくみを検討し、施設や制度の設計に盛り込む。
- ⑦ I L C を核とする**産業集積基盤を形成**し、日本の経済成長に結びつける。

